

					児童発達支援センターないろハウス
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・指導訓練室スペース等を重要事項説明書に記載している。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1		・適切であると思うが、グループで人数が多いとき、忙しくなるため、少なく感じる。 ・基準は満たしているが、療法士が一人だと集団療育に入れる機会が少なく、個別療育に來ているお子様の集団での様子を直接見ることができない。 ・個別療育の際、運動遊びなど、保育士で対応できることは行うなどの対応した。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			・倉庫やパーテーションを活用し、ものを見せないようにするなど工夫している。 ・各クラスに生き物の名前を付けたことで、親しみやすく、子どもたちにも浸透できた。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			・療育後必ず消毒と換気を行い、清潔を保っている。 ・活動内容に合わせて、環境を工夫し、対応することができた。 ・個室は刺激となるものがほとんどないため、子どもたちは活動に集中することができている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		1	・月1回の職員会で業務改善についての話し合いを行っている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3	1	・ホームページ上にて職員と保護者が閲覧できるようになる。 ・今年度より開所のため、今年度実施予定。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	1	・来年公開予定。 ・HUGを通じて閲覧できる。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	4	・来年度もしくは今後受ける予定。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		・外部の研修はコロナ禍で確保できていない。 ・全体での研修は少ないが、スキルアップのために個別の受講したいものがあれば、参加させていただいている。 ・コロナ禍で現場での研修はできていないが、オンラインでの研修ができている。 ・研修の報告は書面で全職員で共有するようにしている。
適	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			・面談の際に保護者の方のニーズを聞いたり、アセスメント表などを用いて子どもの得意なことなどを聞いている。 ・施設長や児発管、場合によっては療法士や保育士が保護者と面談を行い、ニーズを確認した上で、支援計画を作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		・OT、STが検査を担当している。 ・子どもに合わせてアセスメントツールを選択している。

切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			・状況に応じて、支援計画と異なる支援が行われることはあるが、おおむね行われている。 ・支援計画に書いてあることを取り入れていけるように工夫している。 ・支援計画に基づいて、療育内容を考えている。 ・保護者のニーズをもとに本人の意向も交えながら、作成をしている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		1	・グループが終了した際は、必ず振り返りを行い、次のプログラムの立案に繋げている。 ・年齢や特性に合わせたプログラムを組むために職員で話し合っている。 ・集団療育では、リーダーの職員が立案している。 ・年齢や特性に応じて、療育内容に若干の違いはあるが、大きく差がでないように話し合いのもと行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		・飽きてしまわないように教材を増やしたり、変えたりしながら工夫を行っている。 ・子どもたちが楽しんで取組めるよう、目的は同じでも、内容やカードの種類を変えるようにしている。 ・飽きがこないように、手作りの教材を使い、きょうみをもてるように工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6			・言語や作業などの専門的な支援が必要な子は個別、社会性やコミュニケーションに関する支援が必要な子は集団を行っている。 ・子どもに応じて個別、集団を併用し、それぞれで目標を立て、支援計画を立てている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		・事前ミーティングを必ず行っている。 ・事前ミーティングでその日の担当や不測の事態に対応できるように綿密な話し合いを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		・終了後に振り返りミーティングを行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・保護者宛のHUGに記録することで、支援の成果や改善点として共有できている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・今年は1年目ということで、少し遅れたところが反省点である。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	3		・必要な時には連携している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	3	・現在医療的ケア児は受け入れていない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		2	4	・現在医療的ケア児は受け入れていない。

係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2		・送迎の際に活動内容や様子などを担任の先生や保護者に伝えている。 ・こども園と連携し情報共有ができています。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	4	1	・小学校との連携がほとんど取れなかった。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			・他の施設に見学に行ったり、他の施設から療育についてアドバイスをもらうことがある。 ・地域の児童発達支援センターとのセンター会議で連携をとっている。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		4	・コロナ禍で行われていない。 ・自園のみの交流だった。他園は行われていない。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	1	・施設長が参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		・なないうちからの発信は行いが、保護者からの発信は少ないため、今後保護者とう連携していくが課題。 ・子どもの様子をHUGシステムで伝えているが、保護者が来所される機会が少なく、共通理解ができていない。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	3		・こどもによっては親子療育を行い、保護者がこどもとゆっくり関われる時間を提供しています。 ・親子療育を行う中で、声かけや関わり方を伝えている。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約時に説明している。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		・定期的に行われていないので、今後積極的に保護者との面談をするように努める。 ・悩みがある際は傾聴し、その後職員会で共有している。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・保護者会を開催したら参加者が少なかった。今後保護者との連携ができるように努める。 ・保護者会を実施。保護者間の悩みの共有の場を提供。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・相談窓口を設置。または子育て等に関する相談が可能なことを保護者に周知している。 ・各職種立場からアドバイスを行うように努めている。 ・その都度面談を実施。保護者の不安の軽減となるよう。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		・毎月なないうちの便りを発行している。 ・月に1回なないうちの便りを作成し、活動風景を文字や写真で伝えるようにしている。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		・システム内のメールを使って細かく連絡を取り合う。 ・絵カードやPEGSなど、自分の気持ちを表出できるように療育のなかで行っている。

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4	・コロナ禍で実施が難しい。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2		・ビジネスラインの導入。それぞれのマニュアルは状況に応じて見直すことができた。 ・作成はしているが、発生を想定した訓練が実施できなかった。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		・火災に対する避難訓練を実施。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		1	・面接の際に細かく情報を聞いている。 ・保護者から聞いたことは職員間で共有している。 ・てんかんの発作がある子はどのような発作が起こるのか確認している。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3	1	2	・今現在アレルギー児がいない。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		3	3	・まだ作成されていない。 ・今後作成して共有していきたい。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・1月に虐待防止の研修を行い、職員間で情報共有を行った。 ・委員会を設置し、定期的に話し合いをする予定。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	2	2	・身体拘束について契約時に伝えているが、現在対応する子は不在。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。